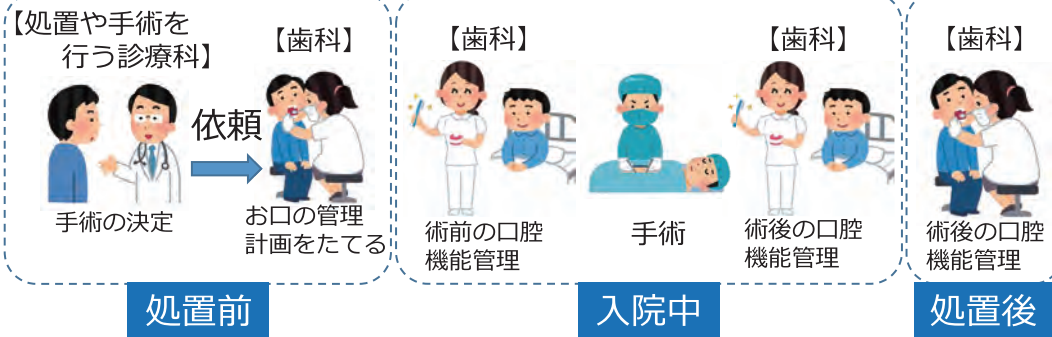


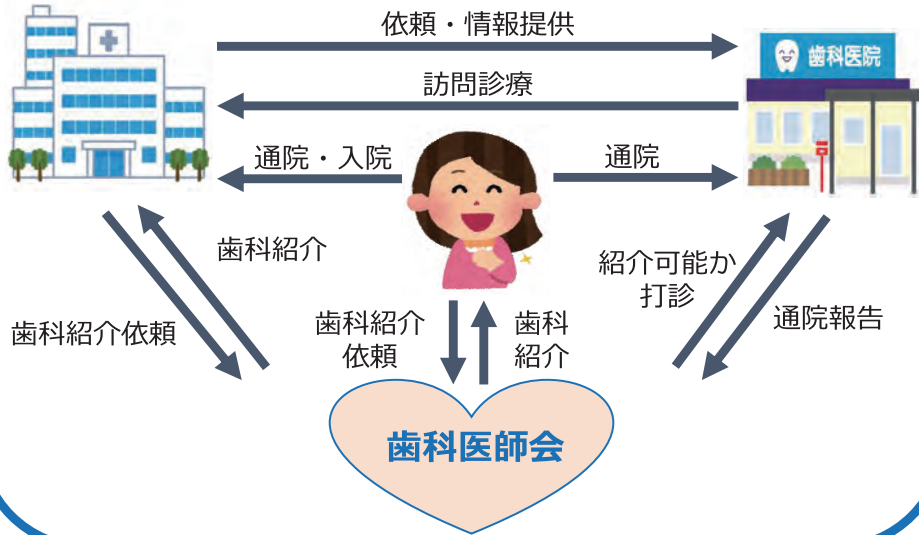
歯科でお口の管理を行うイメージ



手術を受けられる方へ

手術を受ける前から歯科でお口の中をチェックしてもらうことはとても大切なことです。
 かかりつけ歯科がない場合には、お住まいの歯科医師会または福岡県歯科医師会へご相談いただければ、歯科医院のご紹介をいたします。

医科と歯科が連携してお口の中を管理していくことで治療をより成功へと導いていきます。



一般社団法人 福岡県歯科医師会

お住まいの歯科医師会の連絡先について、詳しくはWEBで！

福岡県歯科医師会 あなたの地域の



(平成30年10月)



〒810-0041
 福岡県福岡市中央区大名1丁目12番43号
 Tel 092-771-3531

このような方は手術前に歯科受診しましょう

- ・歯周病もしくは重度のむし歯がある人
- ・口の中のお手入れができず汚れが残っている人
- ・肺炎にかかったことがあったり、低栄養で術後肺炎などのリスクが高い人



成人の2人に1人は歯周病にかかっているという統計もあるため、ほとんどの方は注意する必要があります。



具体的な手術の内容を見てみると・・・

- ①頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍（がん）の手術
- ②心臓血管外科手術
- ③人工股関節置換術等の整形手術
- ④臓器移植手術
- ⑤造血幹細胞移植
- ⑥脳卒中に対する手術・・・など



このような手術の予定がある方は、早めに歯科を受診して対策しておきましょう。

まずはかかりつけの歯科へ

まずはかかりつけの歯科でお口の中をチェックしてもらいましょう。

その際は、全身状態の把握のために、手術を予定している主治医の先生から、今の体の状態や今後の治療予定について歯科の先生宛にお手紙を書いてもらい、持参しましょう。

(治療は保険内で行われます)

こんなトラブルを防ぎましょう



全身麻酔での手術を行う間や手術後しばらくは、呼吸を管理するために、お口が開いた状態が維持されます。そのためお口の中が乾燥してカラカラになり、口の中にいる細菌が増殖し色々なトラブルにつながることがあります。

手術後の肺炎の予防

手術後は呼吸の管理のために肺までチューブを通します。この間はお口の中のセルフケアができないため清掃不良の状態になり、口の中に細菌が増殖します。細菌がチューブの側面を経由して肺まで届くと、肺炎にかかりやすくなります。

手術に入る前までに歯科で歯を綺麗にしてもらい『綺麗』の貯金を作りましょう。またセルフケアの方法を習って、手術前までお口の中のお手入れを続けましょう。



手術後の創部の感染予防

お口の中に歯周病や重度のむし歯があると、お手入れができない間に歯周病菌やむし歯菌が増えて、手術した部位に感染することがあります。また血液から心臓などに感染して合併症をひきおこす要因となります。

歯科で治療できる部分は、早めに治療を受けてコントロールできるようにしましょう。



全身麻酔時のトラブル予防

グラグラと動いている歯があると、全身麻酔での手術中に口の中に入れる管に歯が当たって、欠けたり抜けたりすることで、大事な歯を失ってしまうことになります。

心配な歯があれば歯科に相談して、歯を固定するなどの必要な処置をしてもらいましょう。

